

# 障がい者と雇用

第50号 令和5年6月発行

社会福祉法人ロザリオの聖母会  
障害者就業・生活支援センター  
東総就業センター  
発行責任者 辻内 理章  
〒289-2513  
千葉県旭市野中3825  
TEL 0479-60-0211  
FAX 0479-60-0212  
MAIL toso-s@rosario.jp

## 活動報告：『令和5年度のぞみ会総会』を行いました！！



のぞみ会は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間活動が出来ず、さみしい思いをしていましたが、昨年度から少しずつ感染対策をしながら活動を再開させ、メンバーからは「やっと会えた！」「来年からはもっと活動したい」と熱い想いが事務局の私たちのところに届いていました。そんな想いを受け、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行されたことも追い風になり、令和5年度からは通常の活動を行っていくことになりました！まず、令和5年4月22日、「のぞみ会総会」を開催し、令和4年度の振り返りや今年度の年間の行事予定を、メンバー皆で一生懸命に意見を出し合い、話し合いました。日帰り旅行・勉強会・スポーツ大会等々、様々な行事に取り組んで、楽しんでいきたいと思えます。

のぞみ会は障がいのある方で、働いている方やこれから就職を希望している方たちが、仲間づくり、余暇活動の充実、生活スキルの向上を目指す会です。職場定着促進のための勉強会や日帰り旅行などの余暇活動を実施し、会員間の交流を深めています。随時、会員を募集しておりますので、興味のある方、参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

会費：毎月1,000円（年会費12,000円） 会費は活動の経費とします。

開催：毎月1回程度

連絡先：のぞみ会事務局

障害者就業・生活支援センター 東総就業センター（担当：田中・角田）

TEL 0479-60-0211



## 令和5年度 東総就業センター主催セミナー等のご案内

～全体行事～

障害のある方の雇用と就業に関する地域意見交換会

～支援機関向け～

- ・就業支援者養成セミナー
- ・海匝圏域就労系事業所連絡会



～企業向け～

企業に向けた見学相談会



～相談者向け～

- ・職場定着促進のための勉強会
- ・働く方の交流会



※今後、セミナー等のご案内を随時更新してまいります。

## 令和4年度 東総就業センター就労支援の状況と実績

令和4年度東総就業センター就労支援の状況と実績として、来所・電話・職場訪問等の相談件数が2200件でした。感染症対策に様々工夫をしながら、職場見学・実習・勉強会等、対面での活動に進めていける1年であったのではないかと思います。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に変更されました。コロナウイルス感染症以前のような活気溢れる活動にまいります。

スタッフ一人一人が日々学びをし、利用者の方のニーズに合わせて、できる限りのお手伝いをさせて頂ければと思います。

令和4年度 登録者数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他障害	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
在職中	39	9	181	66	109	23	352
求職中	27	5	78	14	94	29	228
その他	3	0	29	6	32	5	69
合計	69	14	288	86	235	57	649

(人数) ※ 主とする障害登録による

### 東総就業センター スタッフ紹介

センター利用者の方に似顔絵を描いていただきました！！

今後、センターの新しい名刺デザインになる予定になっています。



就業支援担当

まつだいら  
松平シルマール



主任就業支援担当

ふくしまみか  
福島美果



生活支援担当

たなか  
田中みのり



センター長 つかうちまさあき  
辻内理章

宜しくお願ひします！

センター長よりの挨拶



就業支援担当

かくたこういち  
角田広一



企業支援担当

かとりひろゆき  
香取弘行



主任職場定着支援担当

えんどうやすひろ  
遠藤泰裕

令和4年は、長期化するコロナ禍や、物価高騰などの影響により、障害のある方々の雇用状況に限らず社会全体におきましても、厳しい状況が続く1年であったかと思われまます。

そうした状況下であっても、私たちセンターは障害のある方の「働きたい」気持ちに寄り添い、生活と就業の両側面における支援の取組を進めてまいりました。また、継続して働き続けることが出来るよう切れ目のない支援を目指し、関係機関等と連携を行いました。

令和5年、「障害者就業・生活支援センター事業」が基幹的役割を果たすことが定義づけられ、地域と連携を強化した支援体制の実現に向けて活動圏域での具体策を示す重要な時期を迎えたのではないかと思います。引き続き、相談者を中心に行政・医療など関係機関の皆様とともに、企業様への対応も踏まえた生活支援や、事業主支援を柔軟かつスピード感を持って、全力で取り組んでいきたいと思ひます。

本年も引き続き、センターに対する変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。